

第32期第16回常任理事会議事録

日時：2003年12月15日（月）13時30分～16時30分

会場：日本気象学会事務室（8階）

出席者：廣田，古川，勝山，神沢，木田，住，
田中，新野，藤部以上9人

その他の出席者：舘，島村（事務局）

議 題

1. 第32期第15回常任理事会議事録の確認

2. 各委員会等の報告

庶務…転載許可

気象集誌 vol. 70 p. 492 Fig. 35を「JAM-
STEC, Earth Simulator Center」刊行の
「Journal of the Earth Simulator」への転載
許可

・後援名義等使用依頼受付

名称：平成15年度気候講演会

- 1) 主催：気象庁・(財)日本気象協会
- 2) 期日：平成16年1月24日（土）
- 3) 場所：福岡市立中央市民センター
（福岡市中央区赤坂2丁目）
- 4) 名義：後援

名称：第19回北方圏国際シンポジウム
—オホーツク海と海水—

- 1) 主催：紋別市，(社)北方圏センター，
オホーツク海・氷海研究グループ
- 2) 期日：平成16年2月22日(日)～26日(木)
- 3) 場所：紋別市民会館，紋別市文化会館
- 4) 名義：後援

名称：平成15年度水資源学シンポジウム（転
換期を迎えた水資源学—水資源管理変
革前夜）

- 1) 主催：日本学術会議水資源専門委員会，
水文・水資源学会，国土交通省
- 2) 期日：平成16年3月23日(火)「国連水の
日＝3月22日」
- 3) 場所：日本学術会議講堂
- 4) 名義：後援

名称：第32回可視化情報シンポジウム

- 1) 主催：可視化情報学会
- 2) 期日：平成16年7月19日(月)～21日(水)
- 3) 場所：工学院大学新宿校舎
（新宿区西新宿1-24-2）

4) 名義：協賛

- ・「平成16年度学術定期刊行物計画調査」を日本
学術振興会へ提出（11月19日）
- ・平成16年度文部科学省「研究成果公開促進費」
研究成果公开发表（B）の申請状況
北海道支部：平成16年10月23日
：千歳市民文化センター
：「風と生活—航空気象・風力エ
ネルギー・災害—」（440千円）
東北支部：平成16年11月12日
：秋田市文化会館
：「異常気象を生きる—ブナや稲
の護身術—」（980千円）

中部・関西・九州・沖縄支部は申請見送り。

- ・2004年度「猿橋賞」の候補者を推薦した。
- ・2004年度会費請求
グループ別会員（12月1日），個人会員（12月
1日），賛助会員は8月に請求済み。
- ・第20回（平成15年度）井上學術賞について，
当学会からの推薦候補者は選考漏れとの通知
があった。

会計…2003年11月分の収支報告

天気…Vol. 50 No. 12（2003年12月号）の掲載記事と
Vol. 51 No. 1（2004年1月号）掲載予定記事
の報告。

- ・IUGGの報告はVol. 51 No. 3（2004年3月
号）を予定。

気象集誌…Vol. 82 No. 1（February 2004）の掲載
内容と，Vol. 82No. 1b「GPS気象学」特集号
の発行予定を報告。

総合計画…気象業務支援センターが計画している
「気象カレッジ」について計画を聴取した。平
成16年度はこれまでどおり気象技術講習会の
形で共催し，平成17年度以降，関係の再構築
を検討することとした。

- ・現在の会員の多様性に応ずるために必要な定
款改定について，文部科学省担当官に説明し，
基本的に問題の無いことが確認された。その
席上で，その他の定款に対する見直し事項の
指摘を受けた。
- ・レター誌発行準備委員会でネーミングの検討

- を行っている。
- 教育と普及…夏季大学の見直しを行っている。
- 国際学術交流…旅費援助申請状況1件
- 電子情報…2003年11月1～30日の気象学会ホームページのアクセス状況(62,412件)。
- 夏季大学の資料のアクセス件数が多い。メーリングリストを用いて、レター誌の名称募集と、会員制度のアンケートを計画する。
- 地球環境…2004年5月に予定している公開講演会の準備を行っている。
- その他…地球物理学関連学会学会長懇談会の報告。IUGGの報告。
3. 会員の新規加入等について
新入会員9名を承認。12月12日現在、会員数4,357名(内、通常会員3,909名)。
4. 2004年度事業計画案について
2004年度の案に対し、今後修正していく。
5. 第33期役員選挙について
第33期役員選挙管理委員会作業進捗状況の報告。現在役員立候補届出受付のステージにある。
6. 第32期第2回評議員会の形式と議題について
第2回評議員会を2004年3月15日(月)に開催する。各評議員からの指摘事項への回答案をA4用紙1枚程度に取りまとめる。取りまとめた資料を、各評議委員に開催案内とともに送付することとした。
7. 学会運営に関する諸問題(継続)について

春季・秋季大会の健全な大会運営について、大会参加費の値上げなどを含め、具体案を総合計画委員会で検討することとした。

8. 2004年合同大会の地学教育セッションについて
2004年5月に、地球惑星科学関連学会2004年合同大会において開催される特別公開セッション「新しい地学教育の試み—地球惑星科学から「高校地学」へ—」に教育と普及委員会で気象学会からの参加を検討している。
9. 韓国気象学会からの招待への対応について
2004年3月に韓国気象学会大会と同時に開催される「高インパクトの気象と気候国際会議」(ICHWC2004)へ、古川理事長代理が参加することを了承した。
10. その他
インド気象学会から2004年2月25日に開催される会合に日本気象学会から参加して欲しい旨の要望があったが、急な話であるため対応は不可能とすることとした。
事務局員1名が平成16年3月末付けで退職する。事務局員に欠員が生じた場合には直ちに補充を行う必要があることから、12月15日に後任候補者について理事長と担当理事が面接を行い、適任であると判断した旨の報告があった。その報告を受け、常任理事会で後任の4月1日付の採用を了承した。

第33期役員候補者選挙投票のお願い

日本気象学会第33期役員候補者選挙の投票締め切りは3月15日(月)必着です。郵送または投票箱に投函願います。詳しくは、投票用紙と一緒に送付された「投票についての注意事項」をご覧ください。

なお、投票用紙は2月17日までに到着するよう、有権者(2003年12月までの常任理事会で通常会員と認め

られた者)あてに発送しましたが、未着の方は、至急選挙管理委員会事務局までお知らせください。

日本気象学会選挙管理委員会事務局
気象庁観測部環境気象課内
TEL: 03-3212-8341 (内線4251)